

# やってみよう!! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話題までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを使って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、親族や公共機関を装ってお金をだまし取る特殊詐欺の被害を防ぐため、見た人に関心を持ってもらおうと作られた「サル文字」の話です。

## 特殊詐欺被害の防止へサル文字「サギ」の形描く

野生のサルが「サギ」の文字を表現した＝洲本市畑田組

特殊詐欺被害の防止を啓発しようと、洲本市の淡路島モンキーセンターで餌付けされているニホンサルが「サギ」の形に並ぶサル文字を作った。

見た人の記憶に強く残る啓発方法を模索する中、洲本署の刑事生活安全課員が「詐欺が去る」とかけて発案した。

サル文字は、餌を食べる際、群れの序列に関係なく並ぶ「寛容性」を育んできた淡路島のサルだからこそできる芸当だという。

本番では、延原利和センター長が「サギ」の形に掘った溝に餌の押し麦を入れていくと、約300匹のサルが方々に餌の元へ。何度も餌を入れ直し、約30分かけて文字を完成させた。

「2文字を描くのは難易度が高い」と延原センター長。その上、暖かくなると、冬に比べて山に餌が増えるため、同センターにやってくるサルも減るといふ。

兵庫県内で昨年1月から12月の間に発生した特殊詐欺の被害は1074件、被

### 淡路島モンキーセンター、洲本署員が発案



害額は約18億1千万円に上り、過去10年で最多。架空請求詐欺と還付金詐欺が8割を占める。洲本市内でも同時期、2件計87万8千円の被害があった。同署の松岡秀和刑事生活安全課長は「相談できる場所や詐欺について知れ

ば被害は防げる。啓発を続け、被害を減らしたい」と話した。

(萩野俊太郎)

3月16日の朝刊にのった記事

①サル文字はどんな目的で作られましたか。

②洲本署員がどんなシャレを思い付き、サル文字を作ることになったのでしょうか。空欄をカタカナで埋めましょう。

 が 

③なぜ、淡路島のサルは文字を作ることができるようなのでしょう。「序列」(地位などに従って並べた順番)、「寛

容性」(おおらかな性質)という言葉を入れて理由を書きましょう。

④文字作りに参加したサルは何匹ですか。空欄を埋めましょう。

餌の  を食べに

集まった約  匹

⑤兵庫県内で昨年1年間に発生した特殊詐欺の被害件数と被害額を書きましょう。

件、約  円

⑥身近な人を特殊詐欺被害から守るにはどうしたらいいか、おうちの人と話合ってみましょう。

答えは4月2日の「週刊まなびー」にのるよ。



ワークシートの紙面への掲載は今回で終わります。電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーにはこれからも載せていきますので、検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて4月1日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

19日週刊まなびー

ワークシートの  
解答例

- ①【医療】【ウィッグ(かつら)】【髪】【寄付する】
- ②三田市内の女性がヘアドネーションをする際に密着取材したこと
- ③㊦のタチウオ(㊦はマダイ、㊦はトラフグ)
- ④誰かの笑顔につながりますようにと願っている
- ⑤自由記述